

過疎地域等条件不利地域における 集落の現況把握調査の概要

平成28年9月

目次

<u>I 調査の概要</u>	
調査の概要	・・・ 1
用語の定義等	・・・ 2
<u>II 集落の現状</u>	
調査対象の集落数	・・・ 3
人口及び世帯数	・・・ 4
地域区別にみた集落数	・・・ 5
人口規模別集落数・世帯規模別集落数	・・・ 6
集落の高齢者割合（1）	・・・ 7
集落の高齢者割合（2）	・・・ 8
集落の役場までの距離	・・・ 9
無居住化の可能性のある集落の現状	・・・ 10
集落再編の状況	・・・ 11
前回調査時に無居住化が予想された集落の動向	・・・ 12
集落への転入の状況	・・・ 13
子育て世帯の転入	・・・ 14
特徴的な移住事例（1）	・・・ 15
特徴的な移住事例（2）	・・・ 16
集落機能の維持状況	・・・ 17
集落での問題の発生状況（1）	・・・ 18
集落での問題の発生状況（2）	・・・ 19
サポート人材が活動する集落の状況	・・・ 20
集落ネットワーク圏の形成状況	・・・ 21
<u>III 前回調査（平成22年度実施）との比較</u>	
前回調査からの人口の変化	・・・ 22
前回調査からの世帯数の変化	・・・ 23
前回調査対象区域における人口規模別集落数	・・・ 24
前回調査対象区域における世帯数規模別集落数	・・・ 25
前回調査対象区域における集落の高齢者割合	・・・ 26

1. 目的

集落の現況を総合的に把握するとともに、「小さな拠点」づくりの取組や「田園回帰」の実態及びその促進に向けた課題等を把握し、集落対策のあり方や今後の施策の方向性の検討に資することを目的として実施。

これまでに同種調査を平成11年度、平成18年度、平成22年度にも今回を含めていずれも国土交通省と総務省の合同で実施。

2. 調査対象

以下の関係各法により指定される条件不利地域を有する全市町村を対象とした。
(条件不利地域内の集落の現状や市町村の集落対策の取組状況を調査)

調査対象市町村	
過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域市町村	過疎地域市町村(第2条1項)
	過疎地域とみなされる市町村(第33条1項)
	過疎地域とみなされる区域を有する市町村(第33条2項)
過疎地域活性化特別措置法(旧法)に基づく過疎地域を有する市町村(第2条)	
山村振興法に基づく振興山村を有する市町村(第7条)	※今回調査より追加
離島振興法に基づく離島振興対策実施地域を有する市町村(第2条)	※今回調査より追加
半島振興法に基づく半島振興対策実施地域を有する市町村(第2条)	※今回調査より追加
豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯を有する市町村(第2条第2項)	※今回調査より追加

3. 調査方法

平成27年4月30日現在の1,028市町村に対するアンケート調査を実施(平成27年11月～平成28年3月)

※ 東日本大震災による原発事故被災地のうち、平成27年4月30日現在、全域が避難指示区域にあり、調査の実施が困難と思われる5町村は調査対象外とした。

4. 研究会の開催

本調査を進めるにあたり、学識経験者による研究会を開催した。

※ 研究会委員長…小田切徳美(明治大学農学部教授)

※ 研究会委員 …岩崎由美子(福島大学行政政策学類教授)、藤山浩(島根県中山間地域研究センター研究統括監)

「集落」

・本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位とする。（農業センサスにおける農業集落とは異なる。）

「無居住化集落」

・本調査で「無居住化集落」とは、当該集落内で実態として無人化し、通年での居住者が存在せず、市町村行政においても、通常の行政サービスの提供を行う区域として取り扱わなくなった集落を指す。

平成11年度調査

・平成11年 過疎地域における中心集落の振興と集落整備に係る調査

平成18年度調査

・平成18年度 国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査（国土交通省、総務省）

平成22年度調査

・平成22年度 過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査（総務省、国土交通省）

Ⅲ 前回調査（平成22年度実施）との比較

・今回の調査対象区域のうち、今回調査より追加した区域を除いた区域

条件不利地域における平成27年4月時点の集落数は、75,662集落

市町村別集落数

全体	市町村別 集落数				ブロック 構成比	1市町村あたり平均集落数	
	市	町	村	計		現市町村	旧市町村
1 北海道	861 (20.8%)	3,065 (74.1%)	210 (5.1%)	4,136 (100.0%)	(5.5%)	25.4 〔26.7〕	21.5 〔22.7〕
2 東北圏	12,355 (69.9%)	4,652 (26.3%)	668 (3.8%)	17,675 (100.0%)	(23.4%)	94.0 〔100.5〕	47.8 〔47.7〕
3 首都圏	1,254 (42.6%)	1,426 (48.5%)	261 (8.9%)	2,941 (100.0%)	(3.9%)	33.8 〔44.8〕	21.9 〔292.0〕
4 北陸圏	2,003 (63.8%)	1,138 (36.2%)	0 (0.0%)	3,141 (100.0%)	(4.2%)	82.7 〔102.8〕	42.4 〔48.6〕
5 中部圏	2,908 (56.1%)	1,455 (28.1%)	823 (15.9%)	5,186 (100.0%)	(6.9%)	46.3 〔52.1〕	23.5 〔28.6〕
6 近畿圏	2,576 (59.6%)	1,492 (34.5%)	255 (5.9%)	4,323 (100.0%)	(5.7%)	52.7 〔61.8〕	27.9 〔33.9〕
7 中国圏	10,650 (77.3%)	3,095 (22.5%)	27 (0.2%)	13,772 (100.0%)	(18.2%)	148.1 〔158.7〕	54.2 〔61.3〕
8 四国圏	4,150 (54.6%)	3,363 (44.2%)	88 (1.2%)	7,601 (100.0%)	(10.0%)	95.0 〔107.7〕	47.2 〔52.7〕
9 九州圏	11,722 (70.6%)	4,343 (26.2%)	539 (3.2%)	16,604 (100.0%)	(21.9%)	99.4 〔104.8〕	44.3 〔46.4〕
10 沖縄県	105 (37.1%)	81 (28.6%)	97 (34.3%)	283 (100.0%)	(0.4%)	15.7 〔15.2〕	12.3 〔12.0〕
合計	48,584 (64.2%)	24,110 (31.9%)	2,968 (3.9%)	75,662 (100.0%)	(100.0%)	73.6 〔81.1〕	38.6 〔42.7〕

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

※下段〔 〕内は前回調査

■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

東北圏: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟

首都圏: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨

北陸圏: 富山、石川、福井

中部圏: 長野、岐阜、静岡、愛知、三重

近畿圏: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国圏: 鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国圏: 徳島、香川、愛媛、高知

九州圏: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

過疎地域等の条件不利地域における平成27年4月時点の人口は15,383,259人、世帯数は6,378,938人。

集落人口及び1集落あたり平均人口

全体	市町村別 集落人口				ブロック 構成比	市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計		市	町	村	全体
1 北海道	779,413 (49.5%)	768,133 (48.8%)	25,691 (1.6%)	1,573,237 (100.0%)	(10.2%)	905.2 [861]	257.5 [2,983]	122.3 [210]	388.1 [4,054]
2 東北圏	3,181,409 (76.1%)	875,279 (20.9%)	122,537 (2.9%)	4,179,225 (100.0%)	(27.2%)	259.2 [12,274]	188.2 [4,652]	189.1 [648]	237.8 [17,574]
3 首都圏	381,600 (55.6%)	255,739 (37.3%)	48,497 (7.1%)	685,836 (100.0%)	(4.5%)	334.4 [1,141]	179.3 [1,426]	185.8 [261]	242.5 [2,828]
4 北陸圏	370,945 (60.9%)	238,441 (39.1%)	0 (0.0%)	609,386 (100.0%)	(4.0%)	186.0 [1,994]	209.5 [1,138]	0 [0]	194.6 [3,132]
5 中部圏	856,450 (65.4%)	358,777 (27.4%)	94,705 (7.2%)	1,309,932 (100.0%)	(8.5%)	299.0 [2,864]	247.8 [1,448]	117.8 [804]	256.0 [5,116]
6 近畿圏	761,370 (65.4%)	373,839 (32.1%)	28,081 (2.4%)	1,163,290 (100.0%)	(7.6%)	297.6 [2,558]	255.2 [1,465]	110.1 [255]	271.9 [4,278]
7 中国圏	1,253,743 (79.5%)	320,595 (20.3%)	3,075 (0.2%)	1,577,413 (100.0%)	(10.3%)	118.4 [10,593]	103.7 [3,092]	113.9 [27]	115.0 [13,712]
8 四国圏	572,292 (64.2%)	311,526 (35.0%)	6,994 (0.8%)	890,812 (100.0%)	(5.8%)	138.1 [4,145]	92.6 [3,363]	79.5 [88]	117.3 [7,596]
9 九州圏	2,515,670 (76.7%)	710,394 (21.7%)	54,389 (1.7%)	3,280,453 (100.0%)	(21.3%)	221.7 [11,346]	163.6 [4,343]	100.9 [539]	202.1 [16,228]
10 沖縄県	54,421 (47.9%)	27,403 (24.1%)	31,850 (28.0%)	113,674 (100.0%)	(0.7%)	518.3 [105]	338.3 [81]	328.4 [97]	401.7 [283]
合計	10,727,314 (69.7%)	4,240,126 (27.6%)	415,819 (2.7%)	15,383,259 (100.0%)	(100.0%)	224.0 [47,881]	176.7 [23,991]	142.0 [2,929]	205.7 [74,801]

■:各区分において人口構成比が最も大きい地方ブロック

■:各区分において人口構成比が2番目に大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均人口

※下段〔〕内は人口の回答のあった集落数

集落世帯数及び集落あたり平均世帯数

全体	市町村別 集落世帯数				ブロック 構成比	市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計		市	町	村	全体
1 北海道	396,814 (52.2%)	352,329 (46.3%)	11,283 (1.5%)	760,426 (100.0%)	(11.9%)	480.4 [826]	123.2 [2,859]	57.0 [198]	195.8 [3,883]
2 東北圏	1,257,500 (77.6%)	321,405 (19.8%)	42,566 (2.6%)	1,621,471 (100.0%)	(25.4%)	102.5 [12,270]	69.8 [4,604]	65.7 [648]	92.5 [17,522]
3 首都圏	155,724 (55.8%)	103,801 (37.2%)	19,751 (7.1%)	279,276 (100.0%)	(4.4%)	137.6 [1,132]	72.8 [1,426]	75.7 [261]	99.1 [2,819]
4 北陸圏	136,517 (62.7%)	81,056 (37.3%)	0 (0.0%)	217,573 (100.0%)	(3.4%)	68.5 [1,994]	76.8 [1,055]	0 [0]	71.4 [3,049]
5 中部圏	342,940 (66.6%)	136,980 (26.6%)	35,198 (6.8%)	515,118 (100.0%)	(8.1%)	119.7 [2,864]	100.6 [1,362]	43.8 [804]	102.4 [5,030]
6 近畿圏	308,630 (64.9%)	154,337 (32.4%)	12,716 (2.7%)	475,683 (100.0%)	(7.5%)	124.3 [2,482]	105.6 [1,462]	49.9 [255]	113.3 [4,199]
7 中国圏	521,154 (79.4%)	133,941 (20.4%)	1,297 (0.2%)	656,392 (100.0%)	(10.3%)	49.5 [10,534]	43.3 [3,092]	48.0 [27]	48.1 [13,653]
8 四国圏	241,384 (62.2%)	143,547 (37.0%)	3,048 (0.8%)	387,979 (100.0%)	(6.1%)	60.8 [3,972]	42.7 [3,363]	34.6 [88]	52.3 [7,423]
9 九州圏	1,104,584 (78.3%)	284,744 (20.2%)	22,005 (1.6%)	1,411,333 (100.0%)	(22.1%)	97.2 [11,365]	70.5 [4,041]	40.8 [539]	88.5 [15,945]
10 沖縄県	25,324 (47.2%)	13,156 (24.5%)	15,207 (28.3%)	53,687 (100.0%)	(0.8%)	241.2 [105]	162.4 [81]	156.8 [97]	189.7 [283]
合計	4,490,571 (70.4%)	1,725,296 (27.0%)	163,071 (2.6%)	6,378,938 (100.0%)	(100.0%)	94.5 [47,544]	73.9 [23,345]	55.9 [2,917]	86.4 [73,806]

■:各区分において世帯構成比が最も大きい地方ブロック

■:各区分において世帯構成比が2番目に大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均世帯数

※下段〔〕内は世帯数の回答のあった集落数

地域区分別集落数をみると、山間地が29.5% (22,356集落)、中間地が28.9% (21,888集落)で、全体の58.4%が中山間地にある集落である。

地域区分別の集落数

全体	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	656 (15.9%)	1,031 (24.9%)	1,858 (44.9%)	519 (12.5%)	72 (1.7%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	3,859 (21.8%)	4,469 (25.3%)	6,486 (36.7%)	2,064 (11.7%)	797 (4.5%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	1,127 (38.3%)	1,033 (35.1%)	678 (23.1%)	88 (3.0%)	15 (0.5%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	929 (29.6%)	658 (20.9%)	1,243 (39.6%)	311 (9.9%)	0 (0.0%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	2,618 (50.5%)	1,449 (27.9%)	795 (15.3%)	209 (4.0%)	115 (2.2%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	1,840 (42.6%)	1,297 (30.0%)	915 (21.2%)	265 (6.1%)	6 (0.1%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	4,903 (35.6%)	4,632 (33.6%)	3,049 (22.1%)	1,134 (8.2%)	54 (0.4%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	2,748 (36.2%)	2,138 (28.1%)	2,131 (28.0%)	575 (7.6%)	9 (0.1%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	3,641 (21.9%)	5,126 (30.9%)	6,166 (37.1%)	1,508 (9.1%)	163 (1.0%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	35 (12.4%)	55 (19.4%)	187 (66.1%)	0 (0.0%)	6 (2.1%)	283 (100.0%)
合計	22,356 (29.5%)	21,888 (28.9%)	23,508 (31.1%)	6,673 (8.8%)	1,237 (1.6%)	75,662 (100.0%)

: 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

: 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計
参考: 前回調査	20,113 (31.0%)	18,830 (29.0%)	20,392 (31.4%)	5,236 (8.1%)	383 (0.6%)	64,954 (100.0%)

中国・四国には人口規模・世帯規模が小さな集落が多い。世帯規模については、北海道・首都圏・中部などで、規模にばらつきがみられる。

人口規模別集落数(圏域別)

全体	集落の人口規模 (人)								計	
	~9	10~24	25~49	50~99	100~199	200~499	500~999	1000~		無回答
1 北海道	137 (3.3%)	372 (9.0%)	709 (17.1%)	800 (19.3%)	810 (19.6%)	721 (17.4%)	277 (6.7%)	226 (5.5%)	84 (2.0%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	379 (2.1%)	805 (4.6%)	1,952 (11.0%)	3,983 (22.5%)	4,764 (27.0%)	4,138 (23.4%)	1,078 (6.1%)	464 (2.6%)	112 (0.6%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	43 (1.5%)	186 (6.3%)	387 (13.2%)	648 (22.0%)	646 (22.0%)	625 (21.3%)	187 (6.4%)	106 (3.6%)	113 (3.8%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	144 (4.6%)	217 (6.9%)	395 (12.6%)	769 (24.5%)	834 (26.6%)	543 (17.3%)	155 (4.9%)	74 (2.4%)	10 (0.3%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	191 (3.7%)	466 (9.0%)	798 (15.4%)	1,055 (20.3%)	1,129 (21.8%)	909 (17.5%)	331 (6.4%)	234 (4.5%)	73 (1.4%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	115 (2.7%)	288 (6.7%)	533 (12.3%)	859 (19.9%)	1,112 (25.7%)	867 (20.1%)	283 (6.5%)	220 (5.1%)	46 (1.1%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	659 (4.8%)	2,019 (14.7%)	3,529 (25.6%)	3,701 (26.9%)	2,181 (15.8%)	1,146 (8.3%)	329 (2.4%)	146 (1.1%)	62 (0.5%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	504 (6.6%)	966 (12.7%)	1,652 (21.7%)	1,969 (25.9%)	1,456 (19.2%)	829 (10.9%)	155 (2.0%)	62 (0.8%)	8 (0.1%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	340 (2.0%)	1,186 (7.1%)	2,319 (14.0%)	3,715 (22.4%)	4,036 (24.3%)	3,348 (20.2%)	934 (5.6%)	349 (2.1%)	377 (2.3%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	2 (0.7%)	10 (3.5%)	21 (7.4%)	60 (21.2%)	117 (41.3%)	50 (17.7%)	21 (7.4%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	2,514 (3.3%)	6,507 (8.6%)	12,284 (16.2%)	17,520 (23.2%)	17,028 (22.5%)	13,243 (17.5%)	3,779 (5.0%)	1,902 (2.5%)	885 (1.2%)	75,662 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■:各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

世帯数規模別集落数(圏域別)

全体	集落の世帯規模 (世帯)								計	
	~9	10~19	20~29	30~49	50~99	100~199	200~499	500~		無回答
1 北海道	435 (10.5%)	670 (16.2%)	437 (10.6%)	540 (13.1%)	680 (16.4%)	494 (11.9%)	407 (9.8%)	219 (5.3%)	254 (6.1%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	1,181 (6.7%)	2,457 (13.9%)	2,468 (14.0%)	3,494 (19.8%)	3,928 (22.2%)	2,419 (13.7%)	1,233 (7.0%)	327 (1.9%)	168 (1.0%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	179 (6.1%)	425 (14.5%)	357 (12.1%)	539 (18.3%)	595 (20.2%)	412 (14.0%)	238 (8.1%)	74 (2.5%)	122 (4.1%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	321 (10.2%)	477 (15.2%)	425 (13.5%)	678 (21.6%)	638 (20.3%)	312 (9.9%)	148 (4.7%)	49 (1.6%)	93 (3.0%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	566 (10.9%)	819 (15.8%)	651 (12.6%)	893 (17.2%)	1,007 (19.4%)	538 (10.4%)	377 (7.3%)	176 (3.4%)	159 (3.1%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	263 (6.1%)	493 (11.4%)	540 (12.5%)	805 (18.6%)	1,015 (23.5%)	577 (13.3%)	337 (7.8%)	168 (3.9%)	125 (2.9%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	2,141 (15.5%)	3,749 (27.2%)	2,382 (17.3%)	2,305 (16.7%)	1,735 (12.6%)	818 (5.9%)	418 (3.0%)	104 (0.8%)	120 (0.9%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	1,014 (13.3%)	1,636 (21.5%)	1,227 (16.1%)	1,384 (18.2%)	1,305 (17.2%)	587 (7.7%)	221 (2.9%)	46 (0.6%)	181 (2.4%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	1,158 (7.0%)	2,082 (12.5%)	1,965 (11.8%)	3,086 (18.6%)	3,850 (23.2%)	2,327 (14.0%)	1,212 (7.3%)	264 (1.6%)	660 (4.0%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	3 (1.1%)	9 (3.2%)	19 (6.7%)	65 (23.0%)	88 (31.1%)	81 (28.6%)	16 (5.7%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	7,260 (9.6%)	12,811 (16.9%)	10,461 (13.8%)	13,743 (18.2%)	14,818 (19.6%)	8,572 (11.3%)	4,672 (6.2%)	1,443 (1.9%)	1,882 (2.5%)	75,662 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■:各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

集落人口に占める高齢者割合(65歳以上人口が占める割合)が50%以上の集落は全体の20.6%(15,568集落)にのぼり、そのうち801集落(1.1%)では高齢者割合が100%、すなわち集落住民全員が65歳以上の高齢者となっている集落である。

集落人口に占める65歳以上人口割合別

全体	集落人口に占める 65歳以上 の割合							計	【再掲】65歳以上割合		
	0%	1~19%	20~39%	40~49%	50~69%	70%~	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	47 (1.1%)	190 (4.6%)	2,047 (49.5%)	983 (23.8%)	635 (15.4%)	96 (2.3%)	138 (3.3%)	4,136 (100.0%)	3,267 (79.0%)	731 (17.7%)	23 (0.6%)
2 東北圏	82 (0.5%)	699 (4.0%)	10,870 (61.5%)	3,776 (21.4%)	1,520 (8.6%)	330 (1.9%)	398 (2.3%)	17,675 (100.0%)	15,427 (87.3%)	1,850 (10.5%)	104 (0.6%)
3 首都圏	5 (0.2%)	66 (2.2%)	1,337 (45.5%)	642 (21.8%)	315 (10.7%)	103 (3.5%)	473 (16.1%)	2,941 (100.0%)	2,050 (69.7%)	418 (14.2%)	14 (0.5%)
4 北陸圏	20 (0.6%)	126 (4.0%)	1,448 (46.1%)	716 (22.8%)	515 (16.4%)	157 (5.0%)	159 (5.1%)	3,141 (100.0%)	2,310 (73.5%)	672 (21.4%)	56 (1.8%)
5 中部圏	37 (0.7%)	149 (2.9%)	2,265 (43.7%)	1,231 (23.7%)	896 (17.3%)	258 (5.0%)	350 (6.7%)	5,186 (100.0%)	3,682 (71.0%)	1,154 (22.3%)	46 (0.9%)
6 近畿圏	10 (0.2%)	118 (2.7%)	1,879 (43.5%)	1,080 (25.0%)	668 (15.5%)	220 (5.1%)	348 (8.0%)	4,323 (100.0%)	3,087 (71.4%)	888 (20.5%)	44 (1.0%)
7 中国圏	205 (1.5%)	611 (4.4%)	5,030 (36.5%)	3,712 (27.0%)	3,176 (23.1%)	919 (6.7%)	119 (0.9%)	13,772 (100.0%)	9,558 (69.4%)	4,095 (29.7%)	231 (1.7%)
8 四国圏	60 (0.8%)	220 (2.9%)	2,646 (34.8%)	1,923 (25.3%)	1,787 (23.5%)	761 (10.0%)	204 (2.7%)	7,601 (100.0%)	4,849 (63.8%)	2,548 (33.5%)	173 (2.3%)
9 九州圏	84 (0.5%)	700 (4.2%)	7,660 (46.1%)	4,082 (24.6%)	2,658 (16.0%)	547 (3.3%)	873 (5.3%)	16,604 (100.0%)	12,526 (75.4%)	3,205 (19.3%)	110 (0.7%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	42 (14.8%)	184 (65.0%)	17 (6.0%)	5 (1.8%)	2 (0.7%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)	244 (86.2%)	7 (2.5%)	0 (0.0%)
合計	551 (0.7%)	2,921 (3.9%)	35,366 (46.7%)	18,162 (24.0%)	12,175 (16.1%)	3,393 (4.5%)	3,094 (4.1%)	75,662 (100.0%)	57,000 (75.3%)	15,568 (20.6%)	801 (1.1%)

: 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

: 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

集落人口に占める75歳以上人口割合別集落数をみると、全体では75歳以上人口割合が50%以上の集落数は4.6%であり、100%(集落住民全員が75歳以上)という集落も306集落(0.4%)みられた。
地方ブロック別で見ると、四国圏及び中国圏においては75歳以上人口割合が30%以上と高い集落の構成比が高い一方、東北圏や北海道、沖縄県では75歳以上人口割合が比較的低い集落が占める割合が他のブロックより高くなっている。

集落人口に占める75歳以上人口割合別

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1~9.9%	10~19%	20~29%	30~49%	50%~	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	74 (1.8%)	242 (5.9%)	1,477 (35.7%)	1,528 (36.9%)	568 (13.7%)	103 (2.5%)	144 (3.5%)	4,136 (100.0%)	3,889 (94.0%)	103 (2.5%)	8 (0.2%)
2 東北圏	161 (0.9%)	941 (5.3%)	6,893 (39.0%)	6,984 (39.5%)	1,939 (11.0%)	359 (2.0%)	398 (2.3%)	17,675 (100.0%)	16,918 (95.7%)	359 (2.0%)	30 (0.2%)
3 首都圏	12 (0.4%)	93 (3.2%)	886 (30.1%)	982 (33.4%)	384 (13.1%)	111 (3.8%)	473 (16.1%)	2,941 (100.0%)	2,357 (80.1%)	111 (3.8%)	4 (0.1%)
4 北陸圏	40 (1.3%)	186 (5.9%)	1,052 (33.5%)	1,099 (35.0%)	457 (14.5%)	148 (4.7%)	159 (5.1%)	3,141 (100.0%)	2,834 (90.2%)	148 (4.7%)	30 (1.0%)
5 中部圏	67 (1.3%)	212 (4.1%)	1,524 (29.4%)	1,771 (34.1%)	1,011 (19.5%)	251 (4.8%)	350 (6.7%)	5,186 (100.0%)	4,585 (88.4%)	251 (4.8%)	24 (0.5%)
6 近畿圏	24 (0.6%)	150 (3.5%)	1,260 (29.1%)	1,563 (36.2%)	757 (17.5%)	221 (5.1%)	348 (8.0%)	4,323 (100.0%)	3,754 (86.8%)	221 (5.1%)	16 (0.4%)
7 中国圏	371 (2.7%)	714 (5.2%)	3,335 (24.2%)	5,003 (36.3%)	3,304 (24.0%)	926 (6.7%)	119 (0.9%)	13,772 (100.0%)	12,727 (92.4%)	926 (6.7%)	86 (0.6%)
8 四国圏	116 (1.5%)	326 (4.3%)	1,826 (24.0%)	2,573 (33.9%)	1,789 (23.5%)	767 (10.1%)	204 (2.7%)	7,601 (100.0%)	6,630 (87.2%)	767 (10.1%)	72 (0.9%)
9 九州圏	188 (1.1%)	818 (4.9%)	4,966 (29.9%)	6,135 (36.9%)	3,056 (18.4%)	568 (3.4%)	873 (5.3%)	16,604 (100.0%)	15,163 (91.3%)	568 (3.4%)	36 (0.2%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	35 (12.4%)	133 (47.0%)	64 (22.6%)	15 (5.3%)	3 (1.1%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)	248 (87.6%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)
合計	1,054 (1.4%)	3,717 (4.9%)	23,352 (30.9%)	27,702 (36.6%)	13,280 (17.6%)	3,457 (4.6%)	3,100 (4.1%)	75,662 (100.0%)	69,105 (91.3%)	3,457 (4.6%)	306 (0.4%)

:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

:各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

役場(本庁)まで5km未満の集落が31.1%(23,551集落)と最も多く、10km未満の集落で全体の半数以上を占める。地域的にみると、本庁まで遠距離にある集落の割合は中部圏や中国圏で高い。

圏域別・役場(本庁)までの距離別集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
1 北海道	1,773 (42.9%)	954 (23.1%)	858 (20.7%)	537 (13.0%)	14 (0.3%)	4,136 (100.0%)	3,315 (80.1%)	356 (8.6%)	244 (5.9%)	99 (2.4%)	122 (2.9%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	5,432 (30.7%)	4,470 (25.3%)	4,758 (26.9%)	2,810 (15.9%)	205 (1.2%)	17,675 (100.0%)	11,089 (62.7%)	2,796 (15.8%)	1,034 (5.9%)	245 (1.4%)	2,511 (14.2%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	788 (26.8%)	977 (33.2%)	929 (31.6%)	247 (8.4%)	0 (0.0%)	2,941 (100.0%)	1,894 (64.4%)	458 (15.6%)	159 (5.4%)	13 (0.4%)	417 (14.2%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	1,108 (35.3%)	860 (27.4%)	723 (23.0%)	449 (14.3%)	1 (0.0%)	3,141 (100.0%)	1,515 (48.2%)	529 (16.8%)	229 (7.3%)	46 (1.5%)	822 (26.2%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	1,497 (28.9%)	921 (17.8%)	1,167 (22.5%)	1,474 (28.4%)	127 (2.4%)	5,186 (100.0%)	3,135 (60.5%)	889 (17.1%)	349 (6.7%)	29 (0.6%)	784 (15.1%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	1,257 (29.1%)	916 (21.2%)	1,019 (23.6%)	910 (21.1%)	221 (5.1%)	4,323 (100.0%)	2,363 (54.7%)	878 (20.3%)	335 (7.7%)	32 (0.7%)	715 (16.5%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	3,240 (23.5%)	2,761 (20.0%)	3,959 (28.7%)	3,582 (26.0%)	230 (1.7%)	13,772 (100.0%)	9,282 (67.4%)	2,551 (18.5%)	883 (6.4%)	107 (0.8%)	949 (6.9%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	2,726 (35.9%)	1,403 (18.5%)	1,862 (24.5%)	1,429 (18.8%)	181 (2.4%)	7,601 (100.0%)	4,935 (64.9%)	1,460 (19.2%)	528 (6.9%)	209 (2.7%)	469 (6.2%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	5,590 (33.7%)	3,819 (23.0%)	4,259 (25.7%)	2,436 (14.7%)	500 (3.0%)	16,604 (100.0%)	10,569 (63.7%)	2,744 (16.5%)	1,124 (6.8%)	211 (1.3%)	1,956 (11.8%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	140 (49.5%)	74 (26.1%)	33 (11.7%)	25 (8.8%)	11 (3.9%)	283 (100.0%)	240 (84.8%)	9 (3.2%)	6 (2.1%)	0 (0.0%)	28 (9.9%)	283 (100.0%)
合計	23,551 (31.1%)	17,155 (22.7%)	19,567 (25.9%)	13,899 (18.4%)	1,490 (2.0%)	75,662 (100.0%)	48,337 (63.9%)	12,670 (16.7%)	4,891 (6.5%)	991 (1.3%)	8,773 (11.6%)	75,662 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

※「支所までの距離別」で「無回答」の中には、支所を置いていない市町村も含まれる。(以下同じ)

市町村担当者の回答によると、今後10年以内に無居住化の可能性のある集落は570集落(0.8%)であり、いずれ無居住化する可能性があると思われる集落は3,044集落(4.0%)である。
 地域的にみると、特に四国圏では10年以内に無居住化の可能性のある集落が2.6%と高い割合を占めている一方、沖縄県や中国圏では当面存続するとみられている集落が9割以上を占めている。

今後の無居住化の可能性別集落数

全体	集落の無居住化可能性別 集落数				計
	10年以内に無居住化	いずれ無居住化	当面存続	無回答	
1 北海道	22 (0.5%)	245 (5.9%)	3,507 (84.8%)	362 (8.8%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	66 (0.4%)	466 (2.6%)	16,059 (90.9%)	1,084 (6.1%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.5%)	86 (2.9%)	2,453 (83.4%)	386 (13.1%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	35 (1.1%)	109 (3.5%)	2,560 (81.5%)	437 (13.9%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	44 (0.8%)	297 (5.7%)	3,829 (73.8%)	1,016 (19.6%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	32 (0.7%)	253 (5.9%)	3,644 (84.3%)	394 (9.1%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	86 (0.6%)	450 (3.3%)	12,671 (92.0%)	565 (4.1%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	198 (2.6%)	667 (8.8%)	6,645 (87.4%)	91 (1.2%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	71 (0.4%)	471 (2.8%)	14,357 (86.5%)	1,705 (10.3%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	276 (97.5%)	7 (2.5%)	283 (100.0%)
合計	570 (0.8%)	3,044 (4.0%)	66,001 (87.2%)	6,047 (8.0%)	75,662 (100.0%)

 : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

 : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

前回調査の平成22年4月時点に存在していた64,805集落のうち、通年での居住者が存在しない状態(無居住化)となった集落は174集落(0.3%)であり、うち、27集落は東日本大震災による津波被災地にある集落となっている。

地方ブロック別 前回調査対象集落の推移

	前回調査対象集落	無居住化集落	再編し、なくなった集落				再編した集落(存続集落)			新規誕生(B)	集落再編なし※			現集落数(A+B+C)
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	分離	計(A)		再編なし	名称変更	計(C)	
1 北海道	3,954 (100.0%)	9 (0.2%)	46 (1.2%)	9 (0.2%)	2 (0.1%)	57 (1.4%)	31 (0.8%)	3 (0.1%)	34 (0.9%)	5	3,752 (94.9%)	9 (0.2%)	3,761 (95.1%)	3,800
2 東北圏	14,041 (100.0%)	58 (0.4%)	8 (0.1%)	93 (0.7%)	36 (0.3%)	137 (1.0%)	12 (0.1%)	13 (0.1%)	25 (0.2%)	230	13,984 (99.6%)	11 (0.1%)	13,995 (99.7%)	14,250
3 首都圏	2,508 (100.0%)	2 (0.1%)	3 (0.1%)	246 (9.8%)	0 (0.0%)	249 (9.9%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	4 (0.2%)	42	2,236 (89.2%)	18 (0.7%)	2,254 (89.9%)	2,300
4 北陸圏	1,748 (100.0%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	6 (0.3%)	0 (0.0%)	6 (0.3%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	2 (0.1%)	8	1,724 (98.6%)	13 (0.7%)	1,737 (99.4%)	1,747
5 中部圏	3,933 (100.0%)	16 (0.4%)	23 (0.6%)	55 (1.4%)	5 (0.1%)	83 (2.1%)	9 (0.2%)	2 (0.1%)	11 (0.3%)	43	3,699 (94.1%)	150 (3.8%)	3,849 (97.9%)	3,903
6 近畿圏	3,154 (100.0%)	4 (0.1%)	1 (0.0%)	13 (0.4%)	0 (0.0%)	14 (0.4%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	2 (0.1%)	5	3,133 (99.3%)	1 (0.0%)	3,134 (99.4%)	3,141
7 中国圏	12,662 (100.0%)	25 (0.2%)	12 (0.1%)	158 (1.2%)	1 (0.0%)	171 (1.4%)	10 (0.1%)	14 (0.1%)	24 (0.2%)	78	12,404 (98.0%)	69 (0.5%)	12,473 (98.5%)	12,575
8 四国圏	7,215 (100.0%)	26 (0.4%)	11 (0.2%)	16 (0.2%)	1 (0.0%)	28 (0.4%)	9 (0.1%)	3 (0.0%)	12 (0.2%)	14	7,149 (99.1%)	2 (0.0%)	7,151 (99.1%)	7,177
9 九州圏	15,301 (100.0%)	28 (0.2%)	17 (0.1%)	462 (3.0%)	4 (0.0%)	483 (3.2%)	18 (0.1%)	6 (0.0%)	24 (0.2%)	137	14,757 (96.4%)	36 (0.2%)	14,793 (96.7%)	14,954
10 沖縄県	289 (100.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	283 (97.9%)	0 (0.0%)	283 (97.9%)	283
合計	64,805 (100.0%)	174 (0.3%)	121 (0.2%)	1,058 (1.6%)	49 (0.1%)	1,228 (1.9%)	93 (0.1%)	45 (0.1%)	138 (0.2%)	562	63,121 (97.4%)	309 (0.5%)	63,430 (97.9%)	64,130

※「集落再編なし」の中には、人口等の回答の都合上、前回調査での集落の括りとは異なる括りで回答した集落も含まれるため、%の合計が100%を超える場合がある。

前回調査時の無居住化予測別 無居住化集落数

前回調査対象区域	前回調査における集落の無居住化可能性別 無居住化集落数				
	10年以内に無居住化	いずれ無居住化	当面存続	無回答	計
津波被災地の 無居住化集落	0 (0.0%)	1 (3.7%)	26 (96.3%)	0 (0.0%)	27 (100.0%)
津波被災地を除く 無居住化集落	41 (27.9%)	50 (34.0%)	38 (25.9%)	18 (12.2%)	147 (100.0%)

平成22年度に調査した区域のうち「10年以内に無居住化の可能性があると予測されていた452集落あった。このうち、この5年間で実際に無居住化したのは41集落(9.1%)であり、大部分は現在も存続している。

前回調査時に「10年以内に無居住化」と予測されていた集落の変遷

	10年以内に無居住化と予測※	無居住化集落	再編し、なくなった集落				再編した集落(存続集落)			集落再編なし			存続している集落
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	分離	計	再編なし	名称変更	計	
1 北海道	18 (100.0%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (83.3%)	0 (0.0%)	15 (83.3%)	15 (83.3%)
2 東北圏	55 (100.0%)	7 (12.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	48 (87.3%)	0 (0.0%)	48 (87.3%)	48 (87.3%)
3 首都圏	18 (100.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (83.3%)	0 (0.0%)	15 (83.3%)	15 (83.3%)
4 北陸圏	21 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (95.2%)	0 (0.0%)	20 (95.2%)	20 (95.2%)
5 中部圏	50 (100.0%)	9 (18.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (76.0%)	1 (2.0%)	39 (78.0%)	39 (78.0%)
6 近畿圏	25 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (100.0%)	0 (0.0%)	25 (100.0%)	25 (100.0%)
7 中国圏	82 (100.0%)	7 (8.5%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	72 (87.8%)	0 (0.0%)	72 (87.8%)	73 (89.0%)
8 四国圏	129 (100.0%)	13 (10.1%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	114 (88.4%)	0 (0.0%)	114 (88.4%)	114 (88.4%)
9 九州圏	53 (100.0%)	3 (5.7%)	1 (1.9%)	4 (7.5%)	0 (0.0%)	5 (9.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	45 (84.9%)	0 (0.0%)	45 (84.9%)	45 (84.9%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	452 (100.0%)	41 (9.1%)	5 (1.1%)	11 (2.4%)	0 (0.0%)	16 (3.5%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	392 (86.7%)	1 (0.2%)	393 (86.9%)	394 (87.2%)

※前回調査で「10年以内に無居住化」と予測されていた集落(454集落)のうち、前回調査時に既に無居住化していた2集落を除く。

全体の約4割の集落では近年転入がみられるとされている。地域的には、北陸圏や北海道でその割合が比較的高い。

転入者の有無別

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
1 北海道	1,916 (46.3%)	278 (6.7%)	1,761 (42.6%)	181 (4.4%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	6,550 (37.1%)	806 (4.6%)	9,863 (55.8%)	456 (2.6%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	1,117 (38.0%)	45 (1.5%)	1,566 (53.2%)	213 (7.2%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	1,502 (47.8%)	270 (8.6%)	1,362 (43.4%)	7 (0.2%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	2,195 (42.3%)	316 (6.1%)	2,610 (50.3%)	65 (1.3%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	1,682 (38.9%)	150 (3.5%)	2,470 (57.1%)	21 (0.5%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	4,997 (36.3%)	1,198 (8.7%)	7,397 (53.7%)	180 (1.3%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	3,295 (43.3%)	668 (8.8%)	3,414 (44.9%)	224 (2.9%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	6,944 (41.8%)	749 (4.5%)	8,486 (51.1%)	425 (2.6%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	89 (31.4%)	8 (2.8%)	78 (27.6%)	108 (38.2%)	283 (100.0%)
合計	30,287 (40.0%)	4,488 (5.9%)	39,007 (51.6%)	1,880 (2.5%)	75,662 (100.0%)

 : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

 : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

※市町村の知りうる範囲で回答

平成22年以降に転入してきた世帯のうち、子育て世帯(高校生までの子どもがいる世帯)の転入があるかどうかをみると、全体の24.9%の集落では近年子育て世帯の転入があるとされている。
地方ブロック別でみると、子育て世帯の転入があるとされている集落の割合は首都圏を除く全てのブロックで2割を超えており、特に九州圏や北陸圏では約3割と高くなっている。

子育て世帯転入の有無

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
1 北海道	1,150 (27.8%)	442 (10.7%)	1,853 (44.8%)	691 (16.7%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	4,140 (23.4%)	2,662 (15.1%)	9,971 (56.4%)	902 (5.1%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	549 (18.7%)	235 (8.0%)	1,899 (64.6%)	258 (8.8%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	910 (29.0%)	732 (23.3%)	1,276 (40.6%)	223 (7.1%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	1,290 (24.9%)	712 (13.7%)	3,011 (58.1%)	173 (3.3%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	1,023 (23.7%)	611 (14.1%)	2,447 (56.6%)	242 (5.6%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	3,103 (22.5%)	2,353 (17.1%)	6,613 (48.0%)	1,703 (12.4%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	1,724 (22.7%)	1,747 (23.0%)	3,554 (46.8%)	576 (7.6%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	4,906 (29.5%)	2,492 (15.0%)	8,150 (49.1%)	1,056 (6.4%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	80 (28.3%)	15 (5.3%)	80 (28.3%)	108 (38.2%)	283 (100.0%)
合計	18,875 (24.9%)	12,001 (15.9%)	38,854 (51.4%)	5,932 (7.8%)	75,662 (100.0%)

 : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

 : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

※市町村担当者の知りうる範囲で回答

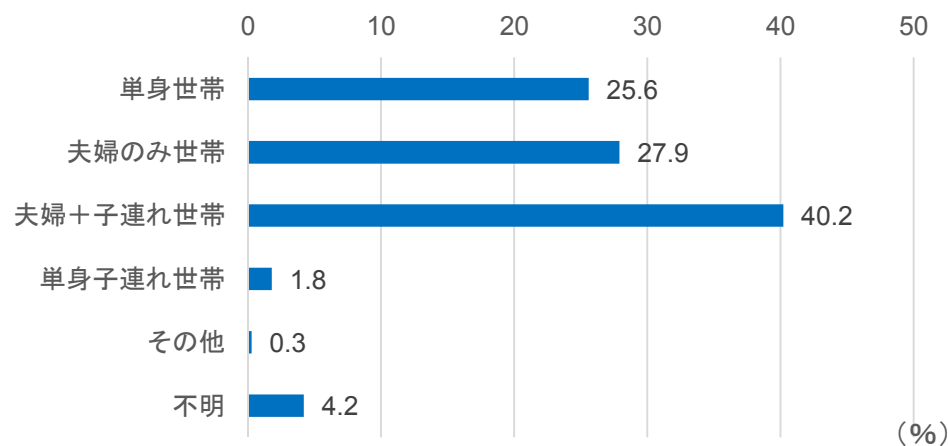
特徴的な移住事例(1)

近年の特徴的な移住事例(最大3つ)の回答を求めた。

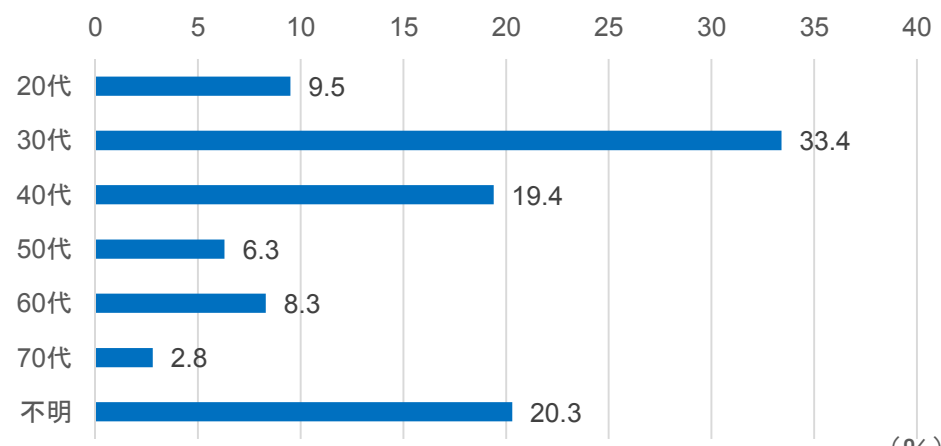
報告された特徴的な移住事例における転入者の属性を分類整理すると、世帯類型では、約4割が子連れ世帯であり、次いで夫婦のみ世帯が約3割と最も多い。転入時の年齢をみると、30代の移住事例が約3分の1を占めており、40代とあわせると半数以上を占めている。

【調査概要:対象市町村:条件不利地域、対象市町村数:1,042、回答市町村数:307、事例数:602(※)】

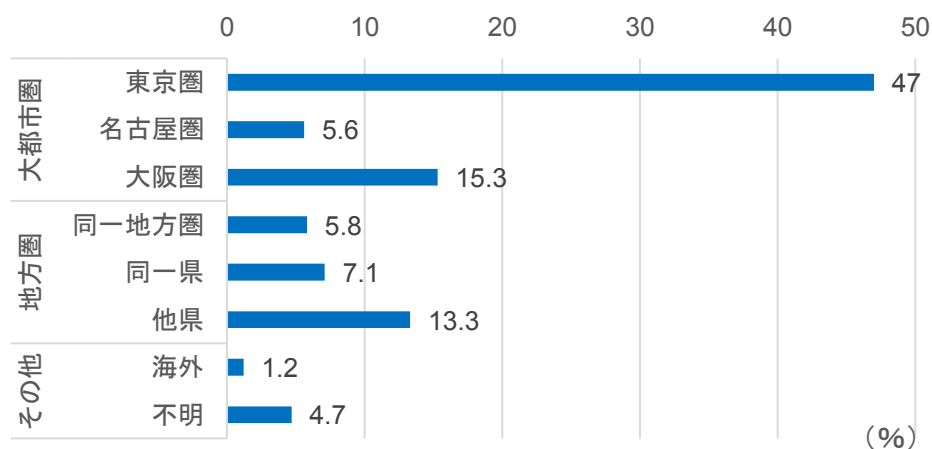
転入世帯類型 (事例数 n=602)



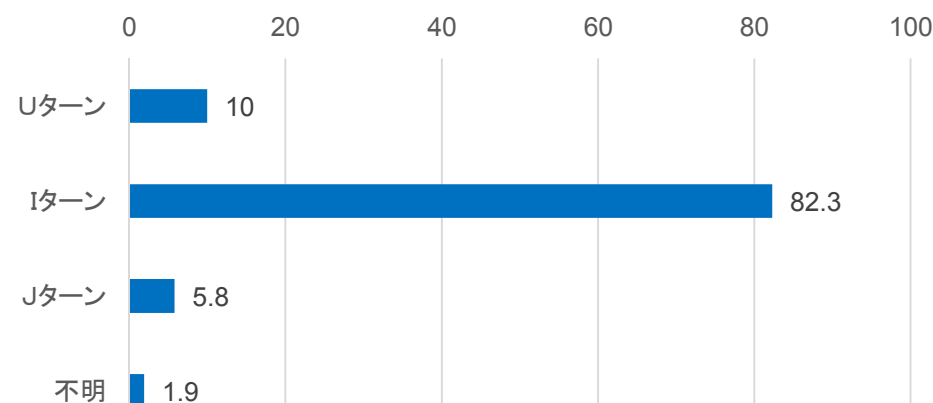
年齢構成 (事例数 n=602)



前住地 (事例数 n=602)



UIJターン別 (事例数 n=623)



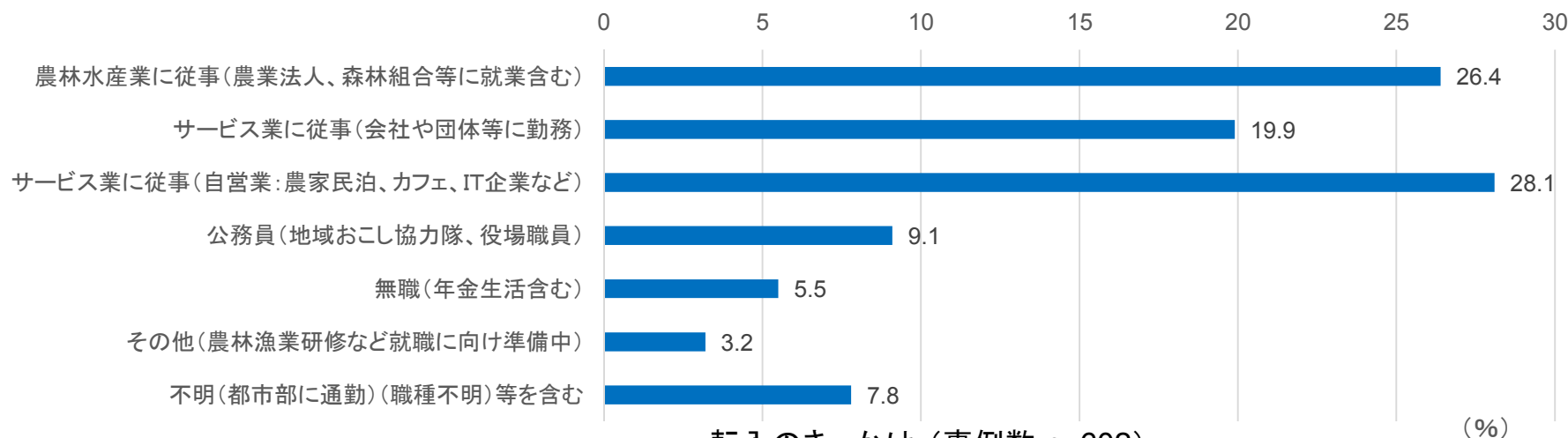
(※)夫婦の場合、それぞれのUIJターン別が明らかな(%)15
場合はそれぞれカウントしたため、事例数は623件

転入後の職業については、自営業やIT起業など、起業・創業により生計を立てているケースや農林水産業に従事しているケースが多くみられる。

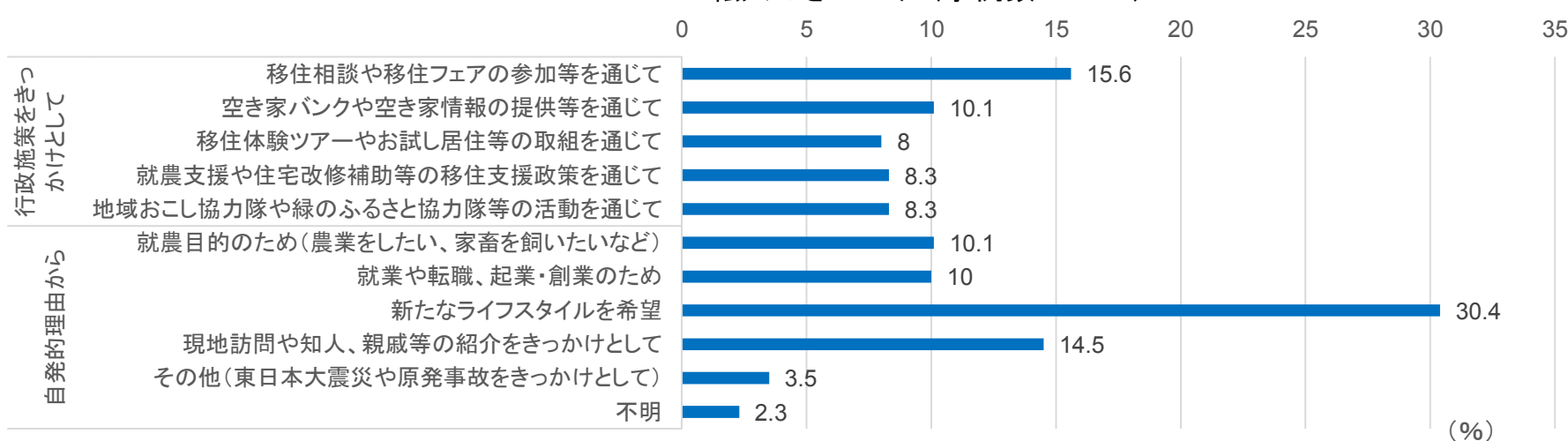
移住のきっかけについてみると、新たなライフスタイルを求めるなど、自発的な理由によるケースが多いが、移住相談や移住フェアへの参加など行政施策をきっかけとした転入事例もみられる。

【調査概要：対象市町村：条件不利地域、対象市町村数：1,042、回答市町村数：307、事例数：602】

転入後の職業（事例数 n=602）



転入のきっかけ（事例数 n=602）



市町村担当者の回答による各集落の集落機能の維持状況をみると、全体では80.1%(60,643集落)の集落では機能が良好に維持されているが、17.6%の集落では機能が低下もしくは維持が困難になっている。
 地域的にみると、沖縄県や東北圏では「良好」に機能が維持されている集落の割合が高い一方、四国圏では機能が低下もしくは維持困難となっている集落が占める割合が高い。

集落の各種機能の維持状況別集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,473 (84.0%)	475 (11.5%)	163 (3.9%)	25 (0.6%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	15,137 (85.6%)	1,490 (8.4%)	241 (1.4%)	807 (4.6%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	2,351 (79.9%)	402 (13.7%)	177 (6.0%)	11 (0.4%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	2,546 (81.1%)	357 (11.4%)	121 (3.9%)	117 (3.7%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	3,694 (71.2%)	979 (18.9%)	254 (4.9%)	259 (5.0%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	3,229 (74.7%)	830 (19.2%)	255 (5.9%)	9 (0.2%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	10,498 (76.2%)	2,349 (17.1%)	597 (4.3%)	328 (2.4%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	5,267 (69.3%)	1,609 (21.2%)	718 (9.4%)	7 (0.1%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	14,199 (85.5%)	1,796 (10.8%)	489 (2.9%)	120 (0.7%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	249 (88.0%)	31 (11.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	60,643 (80.1%)	10,318 (13.6%)	3,015 (4.0%)	1,686 (2.2%)	75,662 (100.0%)

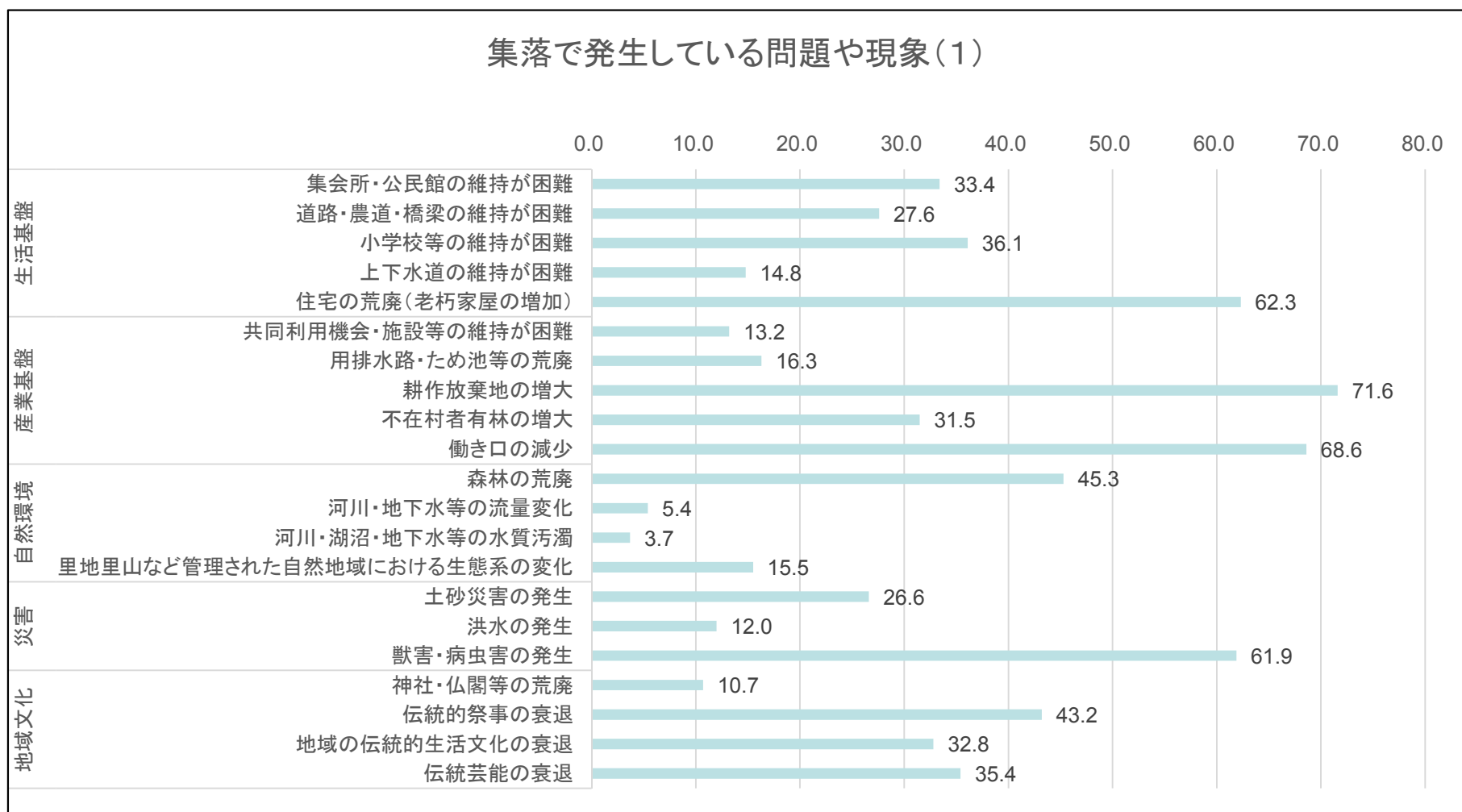
:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

:各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

※「集落機能」…資源管理機能(水田や山林などの地域資源の維持保全に係る集落機能)、生産補完機能(農林水産業等の生産に際しての草刈り、道普請などの相互扶助機能)及び生活扶助機能(冠婚葬祭など日常生活における相互扶助機能)を指す。

多くの集落で発生している問題としては、耕作放棄地の増大(71.6%)や働き口の減少(68.6%)、住宅の荒廃(老朽家屋の増加)(62.3%)、獣害・病虫害等の発生(61.9%)なども多く発生している。

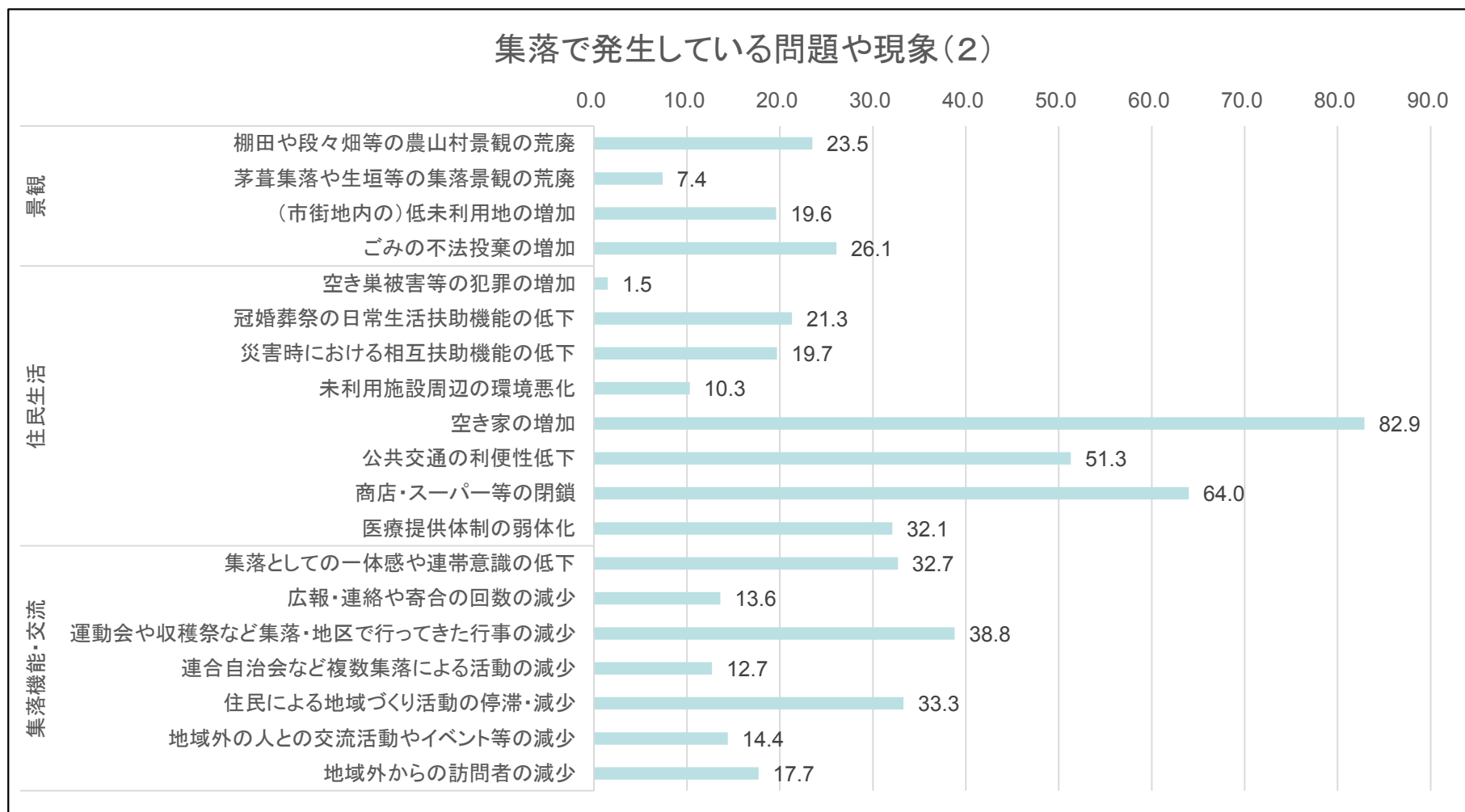
多くの集落で発生している問題や現象 [複数回答](市町村担当者へのアンケート結果)



8割を超える市町村から空き家の増加(82.9%)が指摘されているほか、商店・スーパー等の閉鎖(64.0%)なども多く発生している。

特に深刻な問題となっているものとしては、空き家の増加が最も多くの市町村から挙げられており、次いで働き口の減少や耕作放棄地の増大などが高い割合となっている。

多くの集落で発生している問題や現象 [複数回答](市町村担当者へのアンケート結果)



集落支援員や地域おこし協力隊などのサポート人材が活動する集落の状況をみると、調査対象集落の13.3%では集落支援員が、また、15.9%の集落では地域おこし協力隊等が活動している。
 地方ブロック別でみると、集落支援員が活動する集落は中国圏及び九州圏、地域おこし協力隊等が活動する集落は北陸圏及び四国圏で比較的高い割合となっている。

地方ブロック別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
1 北海道	142 (3.4%)	573 (13.9%)	37 (0.9%)	4,136 (100.0%)
2 東北圏	972 (5.5%)	1,448 (8.2%)	459 (2.6%)	17,675 (100.0%)
3 首都圏	183 (6.2%)	580 (19.7%)	76 (2.6%)	2,941 (100.0%)
4 北陸圏	386 (12.3%)	1,003 (31.9%)	20 (0.6%)	3,141 (100.0%)
5 中部圏	503 (9.7%)	975 (18.8%)	78 (1.5%)	5,186 (100.0%)
6 近畿圏	564 (13.0%)	443 (10.2%)	234 (5.4%)	4,323 (100.0%)
7 中国圏	3,580 (26.0%)	3,458 (25.1%)	703 (5.1%)	13,772 (100.0%)
8 四国圏	748 (9.8%)	1,930 (25.4%)	198 (2.6%)	7,601 (100.0%)
9 九州圏	2,982 (18.0%)	1,609 (9.7%)	236 (1.4%)	16,604 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	2 (0.7%)	1 (0.4%)	283 (100.0%)
合計	10,060 (13.3%)	12,021 (15.9%)	2,042 (2.7%)	75,662 (100.0%)

:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

:各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

全国では、1,635の集落ネットワーク圏が形成されている。
 集落ネットワーク圏の範囲は、小学校区が32.7%と最も多く、次いで旧小学校区の31.6%となっている。

地方ブロック別・形成されている集落ネットワーク圏の範囲別 集落ネットワーク圏数

全体	集落ネットワーク圏の数	集落ネットワーク圏の範囲							
		平成の合併前の旧市町村	中学校区	小学校区	旧小学校区	大字	昭和の合併前の旧市町村	字(小字)	その他
1 北海道	57 (100.0%)	5 (8.8%)	15 (26.3%)	21 (36.8%)	3 (5.3%)	31 (54.4%)	2 (3.5%)	7 (12.3%)	7 (12.3%)
2 東北圏	364 (100.0%)	18 (4.9%)	35 (9.6%)	93 (25.5%)	124 (34.1%)	114 (31.3%)	94 (25.8%)	19 (5.2%)	57 (15.7%)
3 首都圏	17 (100.0%)	9 (52.9%)	5 (29.4%)	8 (47.1%)	3 (17.6%)	5 (29.4%)	5 (29.4%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)
4 北陸圏	108 (100.0%)	7 (6.5%)	0 (0.0%)	12 (11.1%)	21 (19.4%)	69 (63.9%)	11 (10.2%)	0 (0.0%)	8 (7.4%)
5 中部圏	117 (100.0%)	30 (25.6%)	25 (21.4%)	50 (42.7%)	36 (30.8%)	33 (28.2%)	28 (23.9%)	1 (0.9%)	17 (14.5%)
6 近畿圏	110 (100.0%)	12 (10.9%)	7 (6.4%)	42 (38.2%)	32 (29.1%)	19 (17.3%)	32 (29.1%)	1 (0.9%)	8 (7.3%)
7 中国圏	337 (100.0%)	29 (8.6%)	37 (11.0%)	69 (20.5%)	128 (38.0%)	50 (14.8%)	126 (37.4%)	14 (4.2%)	90 (26.7%)
8 四国圏	132 (100.0%)	5 (3.8%)	0 (0.0%)	78 (59.1%)	33 (25.0%)	7 (5.3%)	23 (17.4%)	0 (0.0%)	16 (12.1%)
9 九州圏	377 (100.0%)	29 (7.7%)	39 (10.3%)	159 (42.2%)	136 (36.1%)	50 (13.3%)	54 (14.3%)	20 (5.3%)	55 (14.6%)
10 沖縄県	16 (100.0%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	8 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)
合計	1,635 (100.0%)	148 (9.1%)	166 (10.2%)	535 (32.7%)	516 (31.6%)	386 (23.6%)	375 (22.9%)	68 (4.2%)	266 (16.3%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

※複数の範囲に該当する圏域があるため、構成比の合計が100を超える場合がある

■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

※「集落ネットワーク圏」…集落生活圏(単一又は複数の集落及び周辺農用地等で構成された、自然的社会的諸条件からみて一体的な日常生活圏を構成している 圏域)を基本に、医療・福祉対策や日常生活における交通の確保、地域産業振興、地域の伝統文化の継承・振興など、様々な生活サービスや集落機能の維持・活性化に向けた取組について、地域運営組織が中心となって取り組んでいる地域をいう。

平成22年度に調査した区域のうち、前回調査時から5年間で、人口が減少した集落が約8割を占めている。特に、北海道、四国圏で減少傾向が強い一方、沖縄県では減少傾向が小さい。

地方ブロック別の前回調査時からの人口増減(割合)

前回調査 対象区域	前回調査(H22)からの人口増減の区分別 集落数										計
	人口減少				増減なし	人口増加				無回答	
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	625 (16.4%)	1,258 (33.1%)	783 (20.6%)	392 (10.3%)	131 (3.4%)	178 (4.7%)	107 (2.8%)	90 (2.4%)	118 (3.1%)	118 (3.1%)	3,800 (100.0%)
2 東北圏	1,490 (10.5%)	4,801 (33.7%)	3,450 (24.2%)	1,948 (13.7%)	321 (2.3%)	683 (4.8%)	353 (2.5%)	356 (2.5%)	346 (2.4%)	502 (3.5%)	14,250 (100.0%)
3 首都圏	307 (13.3%)	803 (34.9%)	556 (24.2%)	280 (12.2%)	51 (2.2%)	112 (4.9%)	51 (2.2%)	41 (1.8%)	29 (1.3%)	70 (3.0%)	2,300 (100.0%)
4 北陸圏	220 (12.6%)	663 (38.0%)	385 (22.0%)	219 (12.5%)	72 (4.1%)	73 (4.2%)	51 (2.9%)	36 (2.1%)	21 (1.2%)	7 (0.4%)	1,747 (100.0%)
5 中部圏	596 (15.3%)	1,372 (35.2%)	880 (22.5%)	467 (12.0%)	111 (2.8%)	160 (4.1%)	111 (2.8%)	76 (1.9%)	66 (1.7%)	64 (1.6%)	3,903 (100.0%)
6 近畿圏	463 (14.7%)	1,127 (35.9%)	713 (22.7%)	388 (12.4%)	88 (2.8%)	132 (4.2%)	73 (2.3%)	68 (2.2%)	38 (1.2%)	51 (1.6%)	3,141 (100.0%)
7 中国圏	1,863 (14.8%)	3,882 (30.9%)	2,487 (19.8%)	1,525 (12.1%)	590 (4.7%)	731 (5.8%)	530 (4.2%)	468 (3.7%)	381 (3.0%)	118 (0.9%)	12,575 (100.0%)
8 四国圏	1,340 (18.7%)	2,460 (34.3%)	1,303 (18.2%)	795 (11.1%)	313 (4.4%)	378 (5.3%)	228 (3.2%)	165 (2.3%)	182 (2.5%)	13 (0.2%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	1,866 (12.5%)	4,934 (33.0%)	3,241 (21.7%)	1,982 (13.3%)	402 (2.7%)	894 (6.0%)	512 (3.4%)	389 (2.6%)	338 (2.3%)	396 (2.6%)	14,954 (100.0%)
10 沖縄県	10 (3.5%)	57 (20.1%)	68 (24.0%)	59 (20.8%)	4 (1.4%)	34 (12.0%)	18 (6.4%)	22 (7.8%)	10 (3.5%)	1 (0.4%)	283 (100.0%)
合計	8,780 (13.7%)	21,357 (33.3%)	13,866 (21.6%)	8,055 (12.6%)	2,083 (3.2%)	3,375 (5.3%)	2,034 (3.2%)	1,711 (2.7%)	1,529 (2.4%)	1,340 (2.1%)	64,130 (100.0%)

: 各人口増減率において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

: 各人口増減率において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

平成22年度に調査した区域のうち、前回調査時から5年間で、世帯数が減少した集落が約5割を占めている。

10%超の減少傾向は、北海道、首都圏、北陸圏、中部圏、近畿圏、四国圏、九州圏で傾向が強い。

地方ブロック別の前回調査時からの世帯数増減(割合)

前回調査 対象区域	前回調査(H22)からの世帯数増減の区分別 集落数										計
	世帯数減少				増減なし	世帯数増加				無回答	
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	313 (8.2%)	550 (14.5%)	594 (15.6%)	539 (14.2%)	409 (10.8%)	362 (9.5%)	288 (7.6%)	224 (5.9%)	197 (5.2%)	324 (8.5%)	3,800 (100.0%)
2 東北圏	717 (5.0%)	1,397 (9.8%)	2,140 (15.0%)	2,523 (17.7%)	2,225 (15.6%)	1,865 (13.1%)	1,231 (8.6%)	701 (4.9%)	565 (4.0%)	886 (6.2%)	14,250 (100.0%)
3 首都圏	126 (5.5%)	292 (12.7%)	377 (16.4%)	383 (16.7%)	337 (14.7%)	304 (13.2%)	206 (9.0%)	136 (5.9%)	60 (2.6%)	79 (3.4%)	2,300 (100.0%)
4 北陸圏	86 (4.9%)	213 (12.2%)	300 (17.2%)	268 (15.3%)	337 (19.3%)	187 (10.7%)	130 (7.4%)	84 (4.8%)	52 (3.0%)	90 (5.2%)	1,747 (100.0%)
5 中部圏	270 (6.9%)	573 (14.7%)	672 (17.2%)	579 (14.8%)	576 (14.8%)	438 (11.2%)	313 (8.0%)	229 (5.9%)	126 (3.2%)	127 (3.3%)	3,903 (100.0%)
6 近畿圏	209 (6.7%)	423 (13.5%)	550 (17.5%)	534 (17.0%)	346 (11.0%)	372 (11.8%)	311 (9.9%)	190 (6.0%)	95 (3.0%)	111 (3.5%)	3,141 (100.0%)
7 中国圏	866 (6.9%)	1,817 (14.4%)	1,979 (15.7%)	1,364 (10.8%)	2,470 (19.6%)	1,060 (8.4%)	1,128 (9.0%)	1,048 (8.3%)	571 (4.5%)	272 (2.2%)	12,575 (100.0%)
8 四国圏	634 (8.8%)	1,134 (15.8%)	1,199 (16.7%)	905 (12.6%)	1,091 (15.2%)	664 (9.3%)	631 (8.8%)	501 (7.0%)	285 (4.0%)	133 (1.9%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	777 (5.2%)	1,930 (12.9%)	2,338 (15.6%)	2,507 (16.8%)	1,824 (12.2%)	1,815 (12.1%)	1,403 (9.4%)	971 (6.5%)	686 (4.6%)	703 (4.7%)	14,954 (100.0%)
10 沖縄県	6 (2.1%)	7 (2.5%)	28 (9.9%)	59 (20.8%)	10 (3.5%)	74 (26.1%)	48 (17.0%)	30 (10.6%)	20 (7.1%)	1 (0.4%)	283 (100.0%)
合計	4,004 (6.2%)	8,336 (13.0%)	10,177 (15.9%)	9,661 (15.1%)	9,625 (15.0%)	7,141 (11.1%)	5,689 (8.9%)	4,114 (6.4%)	2,657 (4.1%)	2,726 (4.3%)	64,130 (100.0%)

: 各世帯増減率において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

: 各世帯増減率において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

平成22年度に調査した区域のうち、前回調査と比べて圏域的な特色は、あまり変化がない。
中国圏・四国圏においては、人口規模が小さな集落が多く、北海道・沖縄県には、人口規模が大きな集落が多い。

人口規模別集落数(今回調査)

人口規模別集落数(前回調査)

前回調査対象区域	集落の人口規模 (人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	129 (3.4%)	360 (9.5%)	667 (17.6%)	745 (19.6%)	744 (19.6%)	646 (17.0%)	234 (6.2%)	191 (5.0%)	84 (2.2%)	3,800 (100.0%)
2 東北圏	310 (2.2%)	707 (5.0%)	1,694 (11.9%)	3,466 (24.3%)	3,942 (27.7%)	3,040 (21.3%)	740 (5.2%)	250 (1.8%)	101 (0.7%)	14,250 (100.0%)
3 首都圏	39 (1.7%)	174 (7.6%)	360 (15.7%)	558 (24.3%)	501 (21.8%)	458 (19.9%)	111 (4.8%)	55 (2.4%)	44 (1.9%)	2,300 (100.0%)
4 北陸圏	90 (5.2%)	160 (9.2%)	256 (14.7%)	515 (29.5%)	460 (26.3%)	218 (12.5%)	42 (2.4%)	5 (0.3%)	1 (0.1%)	1,747 (100.0%)
5 中部圏	177 (4.5%)	399 (10.2%)	713 (18.3%)	893 (22.9%)	873 (22.4%)	600 (15.4%)	174 (4.5%)	52 (1.3%)	22 (0.6%)	3,903 (100.0%)
6 近畿圏	104 (3.3%)	243 (7.7%)	450 (14.3%)	711 (22.6%)	853 (27.2%)	540 (17.2%)	135 (4.3%)	59 (1.9%)	46 (1.5%)	3,141 (100.0%)
7 中国圏	628 (5.0%)	1,922 (15.3%)	3,340 (26.6%)	3,389 (27.0%)	1,918 (15.3%)	964 (7.7%)	265 (2.1%)	95 (0.8%)	54 (0.4%)	12,575 (100.0%)
8 四国圏	462 (6.4%)	925 (12.9%)	1,591 (22.2%)	1,869 (26.0%)	1,390 (19.4%)	752 (10.5%)	129 (1.8%)	56 (0.8%)	3 (0.0%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	330 (2.2%)	1,144 (7.7%)	2,226 (14.9%)	3,490 (23.3%)	3,626 (24.2%)	2,808 (18.8%)	743 (5.0%)	231 (1.5%)	356 (2.4%)	14,954 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	2 (0.7%)	10 (3.5%)	21 (7.4%)	60 (21.2%)	117 (41.3%)	50 (17.7%)	21 (7.4%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	2,271 (3.5%)	6,036 (9.4%)	11,307 (17.6%)	15,657 (24.4%)	14,367 (22.4%)	10,143 (15.8%)	2,623 (4.1%)	1,015 (1.6%)	711 (1.1%)	64,130 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

参考: 前回調査	集落の人口規模 (人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	115 (2.9%)	317 (8.0%)	660 (16.7%)	802 (20.3%)	789 (19.9%)	698 (17.6%)	296 (7.5%)	259 (6.5%)	21 (0.5%)	3,957 (100.0%)
2 東北圏	225 (1.6%)	564 (4.0%)	1,388 (9.9%)	3,324 (23.6%)	4,069 (28.9%)	3,373 (24.0%)	848 (6.0%)	273 (1.9%)	8 (0.1%)	14,072 (100.0%)
3 首都圏	27 (1.1%)	133 (5.3%)	346 (13.8%)	551 (22.0%)	561 (22.4%)	474 (18.9%)	127 (5.1%)	58 (2.3%)	231 (9.2%)	2,508 (100.0%)
4 北陸圏	75 (4.3%)	137 (7.8%)	229 (13.1%)	506 (28.9%)	495 (28.3%)	245 (14.0%)	57 (3.3%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)
5 中部圏	157 (3.9%)	338 (8.4%)	660 (16.5%)	949 (23.7%)	945 (23.6%)	710 (17.7%)	187 (4.7%)	61 (1.5%)	1 (0.0%)	4,008 (100.0%)
6 近畿圏	76 (2.4%)	208 (6.6%)	402 (12.7%)	700 (22.2%)	908 (28.8%)	637 (20.2%)	153 (4.9%)	65 (2.1%)	5 (0.2%)	3,154 (100.0%)
7 中国圏	483 (3.8%)	1,642 (12.9%)	3,285 (25.9%)	3,596 (28.3%)	2,131 (16.8%)	1,052 (8.3%)	299 (2.4%)	104 (0.8%)	102 (0.8%)	12,694 (100.0%)
8 四国圏	372 (5.2%)	776 (10.8%)	1,543 (21.4%)	1,952 (27.1%)	1,515 (21.0%)	846 (11.7%)	142 (2.0%)	63 (0.9%)	7 (0.1%)	7,216 (100.0%)
9 九州圏	268 (1.8%)	1,013 (6.6%)	2,130 (13.9%)	3,561 (23.3%)	3,947 (25.8%)	3,198 (20.9%)	867 (5.7%)	281 (1.8%)	43 (0.3%)	15,308 (100.0%)
10 沖縄県	3 (1.0%)	2 (0.7%)	6 (2.1%)	22 (7.6%)	64 (22.1%)	118 (40.8%)	53 (18.3%)	21 (7.3%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
合計	1,801 (2.8%)	5,130 (7.9%)	10,649 (16.4%)	15,963 (24.6%)	15,424 (23.7%)	11,351 (17.5%)	3,029 (4.7%)	1,189 (1.8%)	418 (0.6%)	64,954 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

平成22年度に調査した区域のうち、前回調査と比べて圏域的な特色は、あまり変化がない。
中国圏・四国圏においては、世帯数規模が小さな集落が多く、北海道・沖縄県には、世帯数規模が大きな集落が多い。

世帯数規模別集落数(今回調査)

世帯数規模別集落数(前回調査)

前回調査対象区域	集落の世帯数規模 (世帯)									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	415 (10.9%)	636 (16.7%)	398 (10.5%)	505 (13.3%)	609 (16.0%)	439 (11.6%)	358 (9.4%)	186 (4.9%)	254 (6.7%)	3,800 (100.0%)
2 東北圏	1,029 (7.2%)	2,146 (15.1%)	2,159 (15.2%)	2,947 (20.7%)	3,181 (22.3%)	1,706 (12.0%)	802 (5.6%)	154 (1.1%)	126 (0.9%)	14,250 (100.0%)
3 首都圏	164 (7.1%)	400 (17.4%)	309 (13.4%)	438 (19.0%)	443 (19.3%)	310 (13.5%)	145 (6.3%)	38 (1.7%)	53 (2.3%)	2,300 (100.0%)
4 北陸圏	209 (12.0%)	318 (18.2%)	275 (15.7%)	394 (22.6%)	320 (18.3%)	113 (6.5%)	30 (1.7%)	4 (0.2%)	84 (4.8%)	1,747 (100.0%)
5 中部圏	477 (12.2%)	736 (18.9%)	568 (14.6%)	726 (18.6%)	756 (19.4%)	335 (8.6%)	189 (4.8%)	31 (0.8%)	85 (2.2%)	3,903 (100.0%)
6 近畿圏	229 (7.3%)	411 (13.1%)	447 (14.2%)	640 (20.4%)	724 (23.0%)	371 (11.8%)	163 (5.2%)	50 (1.6%)	106 (3.4%)	3,141 (100.0%)
7 中国圏	2,064 (16.4%)	3,557 (28.3%)	2,194 (17.4%)	2,085 (16.6%)	1,509 (12.0%)	679 (5.4%)	339 (2.7%)	79 (0.6%)	69 (0.5%)	12,575 (100.0%)
8 四国圏	965 (13.4%)	1,592 (22.2%)	1,191 (16.6%)	1,338 (18.6%)	1,251 (17.4%)	554 (7.7%)	193 (2.7%)	43 (0.6%)	50 (0.7%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	1,119 (7.5%)	2,003 (13.4%)	1,851 (12.4%)	2,843 (19.0%)	3,430 (22.9%)	1,951 (13.0%)	953 (6.4%)	168 (1.1%)	636 (4.3%)	14,954 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	3 (1.1%)	9 (3.2%)	19 (6.7%)	65 (23.0%)	88 (31.1%)	81 (28.6%)	16 (5.7%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	6,673 (10.4%)	11,802 (18.4%)	9,401 (14.7%)	11,935 (18.6%)	12,288 (19.2%)	6,546 (10.2%)	3,253 (5.1%)	769 (1.2%)	1,463 (2.3%)	64,130 (100.0%)

 : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
 : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

参考: 前回調査	集落の世帯数規模 (世帯)									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	433 (10.9%)	672 (17.0%)	448 (11.3%)	546 (13.8%)	661 (16.7%)	487 (12.3%)	402 (10.2%)	252 (6.4%)	56 (1.4%)	3,957 (100.0%)
2 東北圏	907 (6.4%)	2,028 (14.4%)	2,065 (14.7%)	2,962 (21.0%)	3,142 (22.3%)	1,676 (11.9%)	775 (5.5%)	149 (1.1%)	368 (2.6%)	14,072 (100.0%)
3 首都圏	157 (6.3%)	386 (15.4%)	339 (13.5%)	457 (18.2%)	449 (17.9%)	320 (12.8%)	134 (5.3%)	35 (1.4%)	231 (9.2%)	2,508 (100.0%)
4 北陸圏	193 (11.0%)	314 (18.0%)	309 (17.7%)	416 (23.8%)	353 (20.2%)	128 (7.3%)	31 (1.8%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)
5 中部圏	445 (11.1%)	729 (18.2%)	603 (15.0%)	812 (20.3%)	818 (20.4%)	373 (9.3%)	197 (4.9%)	30 (0.7%)	1 (0.0%)	4,008 (100.0%)
6 近畿圏	198 (6.3%)	417 (13.2%)	455 (14.4%)	674 (21.4%)	788 (25.0%)	394 (12.5%)	176 (5.6%)	47 (1.5%)	5 (0.2%)	3,154 (100.0%)
7 中国圏	1,901 (15.0%)	3,584 (28.2%)	2,251 (17.7%)	2,133 (16.8%)	1,493 (11.8%)	678 (5.3%)	333 (2.6%)	80 (0.6%)	241 (1.9%)	12,694 (100.0%)
8 四国圏	876 (12.1%)	1,575 (21.8%)	1,260 (17.5%)	1,375 (19.1%)	1,239 (17.2%)	568 (7.9%)	205 (2.8%)	45 (0.6%)	73 (1.0%)	7,216 (100.0%)
9 九州圏	1,101 (7.2%)	2,091 (13.7%)	1,951 (12.7%)	3,146 (20.6%)	3,643 (23.8%)	2,136 (14.0%)	992 (6.5%)	180 (1.2%)	68 (0.4%)	15,308 (100.0%)
10 沖縄県	3 (1.0%)	5 (1.7%)	6 (2.1%)	23 (8.0%)	70 (24.2%)	86 (29.8%)	83 (28.7%)	13 (4.5%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
合計	6,214 (9.6%)	11,801 (18.2%)	9,687 (14.9%)	12,544 (19.3%)	12,656 (19.5%)	6,846 (10.5%)	3,328 (5.1%)	835 (1.3%)	1,043 (1.6%)	64,954 (100.0%)

 : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
 : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

平成22年度に調査した区域のうち、前回調査時か5年間で、集落の高齢化も進んでおり、高齢者割合が50%以上の集落は22.4%と前回調査より6.8ポイント拡大した。特に四国圏、中国圏、北陸圏では3割以上の集落で高齢者割合が50%を超えている。

前回調査対象区域における地方ブロック別・高齢者割合別 集落数

前回調査 対象区域	65歳以上割合別 集落数					<参考:前回調査> 65歳以上割合別 集落数				
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計
1 北海道	2,964 (78.0%)	678 (17.8%)	23 (0.6%)	135 (3.6%)	3,800 (100.0%)	3,307 (83.6%)	438 (11.1%)	24 (0.6%)	188 (4.8%)	3,957 (100.0%)
2 東北圏	12,439 (87.3%)	1,561 (11.0%)	87 (0.6%)	163 (1.1%)	14,250 (100.0%)	12,866 (91.4%)	962 (6.8%)	65 (0.5%)	179 (1.3%)	14,072 (100.0%)
3 首都圏	1,547 (67.3%)	365 (15.9%)	14 (0.6%)	374 (16.3%)	2,300 (100.0%)	1,762 (70.3%)	300 (12.0%)	12 (0.5%)	434 (17.3%)	2,508 (100.0%)
4 北陸圏	1,235 (70.7%)	477 (27.3%)	34 (1.9%)	1 (0.1%)	1,747 (100.0%)	1,424 (81.5%)	292 (16.7%)	32 (1.8%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)
5 中部圏	2,652 (67.9%)	1,018 (26.1%)	44 (1.1%)	189 (4.8%)	3,903 (100.0%)	3,086 (77.0%)	833 (20.8%)	42 (1.0%)	47 (1.2%)	4,008 (100.0%)
6 近畿圏	2,266 (72.1%)	728 (23.2%)	39 (1.2%)	108 (3.4%)	3,141 (100.0%)	2,525 (80.1%)	534 (16.9%)	27 (0.9%)	68 (2.2%)	3,154 (100.0%)
7 中国圏	8,651 (68.8%)	3,612 (28.7%)	217 (1.7%)	95 (0.8%)	12,575 (100.0%)	9,822 (77.4%)	2,518 (19.8%)	154 (1.2%)	200 (1.6%)	12,694 (100.0%)
8 四国圏	4,660 (64.9%)	2,264 (31.5%)	162 (2.3%)	91 (1.3%)	7,177 (100.0%)	5,286 (73.3%)	1,624 (22.5%)	126 (1.7%)	180 (2.5%)	7,216 (100.0%)
9 九州圏	11,250 (75.2%)	2,939 (19.7%)	106 (0.7%)	659 (4.4%)	14,954 (100.0%)	12,921 (84.4%)	2,001 (13.1%)	93 (0.6%)	293 (1.9%)	15,308 (100.0%)
10 沖縄県	244 (86.2%)	7 (2.5%)	0 (0.0%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)	266 (92.0%)	14 (4.8%)	0 (0.0%)	9 (3.1%)	289 (100.0%)
合計	47,908 (74.7%)	13,649 (21.3%)	726 (1.1%)	1,847 (2.9%)	64,130 (100.0%)	53,265 (82.0%)	9,516 (14.7%)	575 (0.9%)	1,598 (2.5%)	64,954 (100.0%)

:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

:各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック